

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年五月度 入選句（投稿総数二千六百五十五句・一般投句数六百四十七句）

特選

媼らはへの字の背ナで春菜摘む 福井県敦賀市 山田 美千代

高齢になると背筋が曲がる人が多い、女性の方も若者の様なゆとりの有る丸味の背ではなくへの字に曲がつた背中で、春菜摘みの農作業に励まれてみえる、適度な仕事で健康長寿を維持し元気に楽しく暮して頂き度い、中句がいいと思います。

母の忌に不孝を詫びて白きバラ 安八郡神戸町 早津 郁男

お母さんの命日に、充分な親孝行もせず、不孝だったと思える事を詫びつつ白きバラを供えた。中年以上の方は親の云い付けを守り、親に逆らう事もなく過ごして来られました。近頃の若い人は親の言葉に従はず、対等な立場になつて親ををよく見掛けます。残念です。こんな昨今にこの様な句は、大切にしたい大変いい句だと思います。

葱坊主勝者のごとく畝に立つ 養老郡養老町 田中 秀子

花が咲く前に収穫を済ませ、種子を取るものだけを畑に残しておきます。晩春残された葱に、葉の間から花茎が伸びて先端に細かく白い花を球状につけます。これを坊主に見立てて葱坊主の名がつきました。正に子孫繁栄のホープとして、責任者として、誇りをもつて畝に立つ様子を、勝者のごとくとよくよまれたよい句だと思います。

秀逸

旭光や旧家の掲ぐる武者幟 養老郡養老町 田中 紫香

藤すだれ都おどりや京舞い妓 大垣市 田中 千代

異国語の飛び交ふ古城花万朶 大垣市 佐竹 余史美

しゃぼん玉飛ぶも消ゆるも風まかせ 大垣市 吉田 てるみ

野良仕事腰をのぼすや山笑う 大垣市 岩田 唯志

ペランダに異国のにほひ黄砂あり 大垣市 松永 勝二

思ひきり腕まくりして今日立夏 福井県敦賀市 山田 美千代

山車舞台稚児の弁慶見得を切る 不破郡垂井町 中嶋 笑子

卒園児紙飛行機に夢乗せて 京都府宇治市 上野 忠夫

川底に藻の青青と五月来る 安八郡神戸町 高橋 日出美

入選

裏路地の猫の背を追う小春日や
 暮れなづむ濃尾平野の春惜しむ
 町おこしの太鼓踊りや春ふかむ
 芭蕉路花もたわわや人の浪
 花筏また一片の加わりぬ
 春風に背中押されて散歩道
 祭笛恵比寿大黒神楽軸
 挽ぎたての香り放ちてよもぎ餅
 山裾に揃い半纏茶摘歌
 門前の石楠花売りは声高し

埼玉県幸手市 小川 徹
 不破郡垂井町 児玉 信子
 大垣市 神野 武彦
 愛知県名古屋市 佐藤 美千子
 大垣市 安田 むつこ
 大垣市 弓指 明美
 大垣市 久保田 悟義
 大垣市 宮脇 和子
 大垣市 岡田 あや子
 大垣市 平野 きぬよ

入選

なつかしき母のあじする桜餅
 さくらもち一人むすことたべたいな
 畦越しに話いつまで草刈女
 メーデーも連休も無し八十路旅
 ちやん付けで呼びあふおうな花見酒
 蒲公英の種奪はんと風奔る
 新入生小さな頬の桜色
 春の宵ひと駆歩いてみませんか
 初桜咲け咲け咲けと風は吹く
 花曇り空ゆったりと鳶の輪

大垣市 金森 光子
 大垣市 金森 ひろこ
 大垣市 森川 きよ子
 大垣市 吉川 松月
 静岡県藤枝市 山本 紫苑
 栃木県那須塩原市 久保田 山蛾
 大垣市 上野 愛珠
 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝
 愛知県名古屋市 山田 雅之
 瑞穂市 伊藤 恵水

選者吟

背に負はれ父と揃ひの登山帽

庄 一 郎